



30 創立 1984.7.10 / 認証 1984.8.6 国際ロータリー第2660地区 大阪鶴見ロータリークラブ会報

事務所：〒534-0026 大阪市都島区網島町9番10号 大閘園内
電話：06-6357-8171 ファックス：06-6357-8011
例会日：毎週火曜日 12時30分 / 例会場：大閘園
会長：広瀬 芳和 / 幹事：鳥居 和久 / SAA：覚野 廣久
電子メール：rcosatrm@cf.mbn.or.jp
ホームページ：http://rc-osaka-tsurumi.jp/



本日の例会

〈第1394回〉2013年9月3日(火) 本年度第9回

卓話

涼しい話と寒い話

担当：山本(良)会員

■ロータリーソング ■ランチタイムミュージック
君が代・四つのテスト

次回の例会

9月8日(日)

次回卓話

鶴見区民まつり

前回の報告

会長インフォメーション <PRESIDENT INFORMATION>

会長：広瀬芳和

適性検査と人事評価はどう違うのか？

人事評価は採用時や管理職登用時、配置転換時の参考材料等としても広く活用されています。

一方、適性検査は、一般常識、言語・計数、性格検査等(又はその組み合わせ)によって構成されており、蓄積されたデータベースを母集団とした統計分析によって検査結果を出力する、というのが一般的な仕組みです。

ここで適性検査と人事評価の違いについて整理してみたいと思います。

適性検査は、その職務に対する資質・適性をどれだけ有しているか？を相対評価的・統計的に測定するものです。

それに対して人事評価は個人の一定期間の職務行動がどれだけ実を結んだか？(成果の発揮度合・能力の発揮度合)を評価するものです。

少し乱暴な整理をすれば、適性検査は将来の成果発揮(予測)を、人事評価は実際に発揮された成果(結果)を測定するもの、と整理できるでしょう。

この適性検査と人事評価を上手く組み合わせることで、長期の人事PDCAを捉えることが可能ではないでしょうか？

くれぐれも適性検査と人事評価の取り扱いを間違わないようにしたいものです。

会社経営は、人物金と言われています。中でも人材は特に重要と考えます。

健全な会社運営のためにも、最適な人材活用を検討してみたいと思います。

新世代のための月間

大阪鶴見ロータリークラブテーマ「参加しやすい、参加したい、参加できる、気楽なクラブを」

8月27日(火) 区民祭実行委員会 オパールルーム
31日(土) 地区財団セミナー 林R財団委員長、秀島
国際奉仕委員長出席
9月 3日(火) 理事会 サファイアールーム

*8月度理事会報告

- ①交際交流のつどい・例会を11/16(土)から11/17(日)に変更することを承認。
- ②地区災害支援基金に募金5万円を拠出することを承認。
- ③武市会員の出席規定の適用免除申請を承認。
- ④2012-13年度の決算報告を承認。

*鶴見区区政会議委員の募集について

 **NIKONIKO箱** 

¥23,000.- 累計 ¥397,000.-

浮舟会員 骨髄移植推進キャンペーン「明日への扉」今年度も9/27(金) 9/28(土) にNHKホールで開催します。バージョンUPしていますので見てやって下さい。ご招待しますのでお申し込み下さい。

笹野会員 結婚記念のお花ありがとうございました。皆様、大変お久しぶりでございます。

山本(良)会員 8年在籍と10回連続出席賞ありがとうございました。又、2週続けての欠席お詫びします。

秀島会員 残暑お見舞い申し上げます。

水間会員 本日、早退します。区民祭実行委員会にも参加できません。津野委員長お許し下さい。

大阪鶴見RC国際交流基金

¥3,000.- 累計 ¥44,000.-

清水会員 前回例会欠席のおわび。

「ロータリーの友 9月号」の記事紹介

担当：笹野会員

「REGENERATION 再生～ロータリーの新たな出発～」

「皆さんの地区で、次世代の若い職業人やボランティアが入会する余地を作っていただけますか。今日の若いリーダーを未来のロータリアンにするために、どのようなことが役に立つのか、ローターアクトや若いロータリアンに聞きました。」という出だしでこの記事は始まっています。

記事の形式は若いローターアクト参加者やロータリアンに質問をして回答をもらったものを掲載している前半と現RI会長のロンD・バートン氏に「新世代」についてQ&A形式でのやり取りを掲載して後半とで構成されています。

前半では主にローターアクトの方々の意見の掲載が多かったのですが、中にはEクラブではありますが32歳のロータリアンの意見や私が読んで一番びっくりしたのはなんと23歳のロータリアンの方の意見が掲載されていたことです。

前半の内容は大きく2点であると私は読み取りました。1点目は若い世代と年輩世代との活動に対する考え方の違い、2点目はロータリークラブに入会・活動することへのお金の問題です。

前者の論点では「若いからと言って経験がないというのはよくある誤解だ(ローターアクト)」という意見と「私が出会った真のロータリアンは、若い人の能力を心から信じてくれる人です(ロータリアン)」という意見とで真っ向からぶつかる様なものも掲載されていました。また、「若いロータリアンが年長のロータリアンと付き合う際、皆さんはどんなことを考慮しますか?」という質問には「・・・彼ら(年長のロータリアン)が私にわからない冗談を言ったり、私が生まれる前の出来事について話したりしますが私は気にしないことにしています。」と「こいつこんなこと言っているのか?!」と思われることも堂々と記事になって掲載されています。

後者の論点では「私たちのクラブの会員は、経済的な困難に直面している。これは若い人だけの問題ではありません。」として「より多くのお金を出せる人もいるし、より時間と体力を使える人もいるし、ネットワークとのアクセスを持つ人もいます。」

私たちがこのようなかわりあい方全てを認識したとき、この組織はより豊かになる。」との意見がありました。私的にびっくりしたのは「親の庇護を受けていてもロータリーに関わっていい。実際にロータリークラブに入会してその費用をねん出するためには親に助けてもらわなければならない。」とはっきり言い切っている意見が掲載されていることです。個人的には「それはあかんやろ!」と思ってしまいますが、若年のうちから関わろうと思うと今の世代の人たちにはそうするしかないのかもしれない・・・と考えさせられたりもしました。

逆にこうまでしてもロータリークラブに関わる人たちはロータリー活動に熱い思いが詰まっているのだろうなとも思いました。

「安定した収入を得るまでに時間がかかる」これが今の世界的な若者たちの課題なのかもしれません。

後半は、RI会長に「新世代」に対する取組等を聞いています。「ローターアクトをロータリーへ」を強く押し進めたいとし、それを「受け入れてくれるように今のロータリアンに望みます。」と述べています。またその受入れの最大の障害が「ロータリアンである。」とし「もっと懐を深く!」と記事には掲載されています。

私自身も若いつもりですが仕事柄年輩の人と話すのはさほど苦にしませんし、記事ほどの疎外感を感じることもないですけど(鶴見ロータリーの皆さんが素晴らしい深い懐をお持ちだからでしょう)私の同世代はそんな風を感じているのかと思うと、「僕って老けてるのか?」と少し心配になりました。

年輩のロータリアンの皆様結構耳が言いたいかもしれません(笑)。ぜひご一読ください。

青少年活動月間に当たって

国際ロータリー第2660地区 ガバナー
福家 宏

2013年4月、米国イリノイ州シカゴにおいて規定審議会が開催され、当地区からは岩田宙造 P G が代議員としてご出席下さいました。その規定審議会で、新世代奉仕部門は、かつての名称である青少年奉仕部門に変更されました。

ロータリーでは1908年から青少年を対象としたプログラムが実施されて来ました。そして1979年、国連の国際児童年に合わせて R I は「ロータリーは子どもを大切に」というスローガンを採択し、また「ロータリアンは青少年の模範」“Every Rotarian an Example to Youth”の標語を採択しました。

その後1996年度ルイス・ジアイ R I 会長は、青少年対策を最重点課題と考え、未来を担う新世代が何を望んでいるかを知るために、全世界のクラブが新世代会議を開催することを要請しました。この年度より従来の「青少年活動月間」の名称が「新世代のための月間」となりました。そして、それまで14才から30才までの若者を対象としたプログラムが、新世代のためのロータリー・プログラムでは、0才から14才の子ども達も視野にいた活動に拡大されました。

さらに2010年規定審議会で、新世代奉仕はロータリー・クラブの活動の土台となるクラブ奉仕、職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕に続く、第5の奉仕部門として承認され昨年度まで、新世代奉仕としての活動が続けられて来たのです。

では今後0才から13才を対象としたロータリーのプログラムはどうなるのでしょうか？ R I やロータリー財団は、乳幼児と学童への奉仕活動については青少年育成とは異なった人道奉仕の一環として捉えて、未来の夢計画 F V P の補助金を用いる形で実施しようと考えているようです。すなわちグローバル補助金で示されている6つの重点分野のうち、直接的には「母子の健康」「基本的教育と識字率の向上」「疾病予防と治療」などの分野で、乳幼児と学童のためのプログラムを立ち上げて行くということだと考えられます。もっとも当地区では青少年活動委員会が小学生高学年を対象とした少年少女ニコニコキャンプが実施されています。

R I は年齢30才までの若い人すべてを含む青少年の多様なニーズを認識しつつ、よりよき未来を確かなものとするために青少年の生活力を高めることによって、彼らに将来への準備をさせること」をロータリアンの責務とし、すべてのクラブと地区は青少年の基本的ニーズを支援するプロジェクトに着手するよう奨励して来ました。

基本的ニーズとは、健康、人間の価値、教育、自己開発であり、国際ロータリーが用意する次の四つの常設

プログラムで、これらを実践する必要があります。

- インターアクト (13才~18才)
- ローターアクト (18才~30才)
- ロータリー青少年指導者養成プログラム (RYLA) (14才~30才)
- ロータリー青少年交換(高校生)

私たちの2660地区でもこれらのプログラムは活発に実践されております。

更に、R I は児童および青少年の安全を考え、肉体的、性的および精神的な虐待、とくに性的虐待あるいはハラスメントの防止に関する声明や指針を設け、その実践を勧めています。当地区では、不幸にもあってはならないトラブルに対応するために、危機管理委員会が設置され、危機管理積立金が用意されています。

日本には米山奨学金制度や米山学友会があり、米山奨学生や学友会メンバーとロータリアン、そして他の青少年プログラムの若い人々との活発な交流が望ましいと、私は考えております。そして、新しい世代の人々がロータリーについての知識を深め、近い将来ロータリアンになって頂けるように、私たちは努める必要があると考えます。

ロータリーの高齢化や会員減少に歯止めをかけることは今や非常に大切な課題となっています。若い世代の人々との交流には、ソーシャル・メディア・ネットワーク・システムが威力を発揮します。地区の広報委員会にも力をお借りして、このシステムが本格的に機能し始めることを願っております。

前回の出席報告		(8月27日 1393例会)	
会員数 32名		ビジター	0名
(内出席規定免除 6名)		ゲスト	0名
出席会員 26名中 20名		出席総数	24名
出席免除会員 6名中 4名		前々回 8/6	M/U 1名
出席率 24/30 80.00%		修正出席率	90.32%

今月の表彰とお祝い

Commendation & Celebrate!

誕生日

覚野、菊井、鳥居

在籍年数

13年 秀島、4年 木村、2年 笹野

ホームクラブ10回連続賞

岡田、大草

結婚記念日

9/25 中嶋、9/30 大草

事務所設立記念日

9/2 岡田 各会員



www.rotary.info

ROTARY

121万の
ボランティア会員
世界200カ国

ロータリーソング

四のテスト

言行はこれに照らしてから

真実かどうか
みんなに公平か
好意と友情を深めるか
みんなのためになるかどうか

R-O-T-A-R-Y

R-O-T-A-R-Y,
That spells ROTARY,
R-O-T-A-R-Y is known on Land and Sea.
From North to South, from East to West
They profit most, Who serve the Best
R-O-T-A-R-Y,
That spells ROTARY

奉仕の理想

奉仕の理想に集いし友よ
御国に捧げん我等の業
望むは世界の久遠の平和
めぐる歯車いや輝きて
永遠に栄えよ 我等のロータリー

我らの生業

我等の生業さまざまなれど
集いて図る心は一つ
求むるところは平和親睦
力むるところは向上奉仕
おゝロータリアン 我等の集い

限りなき道ロータリー

奉仕の理想 胸に秘め
友情花と咲かせつつ
生きよう今日も ニコニコと
一筋の道 ロータリー
限りなき道 ロータリー

それでこそロータリー

どこで合っても やあと言おうよ
見つけた時にゃ おいと呼ぼうよ
遠い時には 手を振り合おうよ
それでこそ ローローロータリー

町に灯(ともしび)を

出会いの挨拶してごらん
並木さらさら葉から葉へ
人にやさしい町の風
ロータリー ロータリー
廻って 守れ 風車になって
地球がきれいな息をする

われらがロータリー

「聞こえるかい 熱い心の高鳴りが」
夢を世代に受け継いで
今日も明日もその先も
胸いっぱい友情深め
肩組んで 謳おう
われらが ロータリー